

2023年度「電波の日・情報通信月間」受賞者一覧

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	大谷 和子	個人	株式会社日本総合研 究所 執行役員 法務部長	デジタル時代における放送の将来像等についてのとりまともに尽力し、放送法・電波法の改正の実現等制度整備に多大な寄与をするとともに、インターネット利用者の安心・安全に関する議論に携わり、プロバイダ責任制限法の整備や円滑な運用の促進に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	加納 隆	個人	滋慶医療科学大学大 学院 客員教授 埼玉医科大学 名誉教 授	電波環境協議会 医療機関における電波利用推進委員会委員長として、医療関係者向けの電波利用の手引きの策定等で中心的な役割を果たし、積極的にその周知啓発に取り組む等適正な電波利用の推進に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	カボ・ニール・セチェ レ・モルワエン	個人	ボツワナ共和国 大統 領府 担当大臣	ボツワナ共和国で地上デジタル放送日本方式の整備を推進し、海外採用国として初めてデジタル放送への完全移行を達成し、同方式の同国における普及・発展に大きく寄与するとともに、情報通信分野における二国間の協力関係の発展に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	日比野 隆司	個人	前 電波監理審議会会 長 株式会社大和証券グ ループ本社 取締役会長 兼 執行 役 大和証券株式会社 取 締役会長	電波監理審議会会長として電波及び放送に関する事項を審議するに当たり、公共の福祉に関し公正な判断を行うとともに、同審議会の円滑な運営に尽力するなど我が国の電波・放送行政の発展に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	柳川 範之	個人	東京大学大学院 経済 学研究科 教授	産学官が連携する「Beyond 5G新経営戦略センター」の共同センター長として、知的財産・国際標準化戦略を推進するとともに、デジタル変革時代の電波政策懇談会5GビジネスデザインWGに参画し、5Gビジネスを拡大していくための方策等の検討を行うなど、我が国の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。
中 央	電波の日 総務大臣 表彰	一般社団法人電波産 業会 無線LANシステム開 発部会	団体	委員長 守倉 正博	長年にわたり無線LANの高度化に尽力し、近年では特に新たな周波数帯である6GHz帯への拡張に向けて国内外の技術動向の調査研究や標準化のほか、国際連携の強化等数多くの取組を推進することにより、我が国における無線LANの発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	荒川 薫	個人	明治大学 総合数理学 部長 兼 教授	長年にわたり、電気通信紛争処理委員会及び情報通信審議会において、情報通信に関する豊富な経験と高い見識を生かして審議に精励し、特に電気通信紛争処理委員会では委員長代理として多岐にわたる紛争事案等の解決を通じて情報通信の健全な発達に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	内山田 竹志	個人	トヨタ自動車株式会社 取締役・Executive Fellow	情報通信審議会会長として幅広い見識を生かし、長年にわたり審議を円滑に運営するとともに、情報通信月間推進協議会会長として情報通信の普及振興に務めるなど、我が国の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	隅田 英一郎	個人	国立研究開発法人情 報通信研究機構 主管研究員	高精度な自動翻訳技術を開発するとともに、ボイス トラなどを通じた社会実装や翻訳バンクによるデータ 収集エコシステムの構築、更にはAIによる同時通訳の 基盤技術の確立など多岐に渡る活躍により、我が国 における自動翻訳技術の発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	富田 章久	個人	北海道大学大学院 情 報科学研究院 教授	長年にわたり、量子情報通信技術に関する研究開発 等の取組を牽引し、世界最先端の技術の確立や国際 標準化活動に貢献したほか、人材育成及び産学官連 携に向けたフォーラム活動に尽力し、我が国における 量子情報通信分野の発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	松本 勉	個人	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授	長年にわたり、暗号技術や認証技術をはじめとする サイバーセキュリティの研究開発に尽力するとともに、 暗号技術検討会座長としてCRYPTRECによる電子 政府推奨暗号の安全性評価・監視等を主導し、自由、 公正かつ安全なサイバー空間の確保に多大な貢献を した。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	一般社団法人 ICT-I SAC	団体	理事長 齊藤 忠夫	情報通信分野におけるサイバーセキュリティ対策のた めの組織として、我が国初のISACとして設立以来二 十年にわたり活動し、情報共有や人材育成、他分野 のISACにおける活動の先導や海外機関との連携な どを通じて、情報通信分野におけるサイバーセキュ リティの向上に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 月間 総務大臣 表彰	G7群馬高崎デジタ ル・技術大臣会合開 催推進協議会	団体	会長 群馬県知事 山 本 一太	令和5年4月29日及び30日に開催されたG7群馬高崎 デジタル・技術大臣会合において、各国代表をもてな すとともに、県民・市民も参加した機運醸成に向けた 様々な取組を実施するなど、会合運営を支援し、同会 合の成功に多大な貢献をした。
中 央	志田林三 郎賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	笠松 章史	個人	国立研究開発法人情 報通信研究機構 未来 ICT 研究所 小金 井フロンティア研究 センター 研究センター 長	長年にわたりテラヘルツ波の研究チームの代表として デバイス開発技術や計測技術等の発展に寄与すると ともに、IEEE における初めての300GHz帯無線通信規 格の成立や 2019 年世界無線通信会議における同周 波数帯の割当てに向けた議論に大きく貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	大橋 弘	個人	東京大学 副学長 東京大学公共政策大学院 教授	電気通信市場検証会議において長年にわたり座長と して電気通信市場の分析・検証及び公正競争の確保 に向けた方策の取りまとめに尽力するとともに、ブ ロードバンド基盤の在り方や電気通信事業ガバナンス の強化の取りまとめ、更には将来を見据えた情報通 信政策の在り方に向けた方策の検討に寄与するなど 情報通信の健全な発達に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	三瓶 政一	個人	大阪大学 名誉教授	オープンな規格を用いたマルチベンダー基地局の相互運用性向上のための技術的検討に係る調査検討会の主査を務め、適切な相互接続性検証が実施されるよう指導に尽力し、世界初の複数通信事業者が参画する Open RAN の試験・認証拠点である Japan OTIC の設立に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	関口 博正	個人	神奈川大学 経営学部 教授	総務省における審議会等の委員等として会計学等における高い専門的見地から接続ルールの見直し、固定電話網の IP 網への移行、ユニバーサルサービス制度、移動通信分野等における競争ルールの検証等の議論に尽力し、総務省の電気通信分野の政策決定に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	細野 昭雄	個人	株式会社アイ・オー・ データ機器 代表取締役会長	長年にわたりテレコムサービス協会理事及び北陸支部会長として、支部の枠を超えた各種取り組みにより地域の情報化を積極的に推進するとともに、I-O DATA 財団を創設し ICT 分野における研究開発支援事業を通じて当該分野の発展に寄与するなど、我が国の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。
中 央	情報通信 功績賞 情報通信 月間推進 協議会会 長表彰	盛合 志帆	個人	国立研究開発法人情 報通信研究機構 執行役 サイバーセキュ リティ研究所長	長年にわたり暗号技術の研究開発、標準化及び社会実装に尽力するとともに、国立研究開発法人情報通信研究機構サイバーセキュリティ研究所長として、我が国におけるサイバーセキュリティ領域の研究開発拠点形成を牽引し、安全・安心なデジタル社会の実現に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	笹森 崇行	個人	北海学園大学工学部 電子情報工学科教授	北海道総合通信局が主催する「地域ニーズに応じた自営等BWAの高度利用に関する調査検討会」の座長として、自営等BWAに期待される新たな運用形態の導入に向けた取りまとめを主導し、電波利用の高度化、多様化に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	Kanon feat. MSMO Lab.	団体	代表 配島 海音	水稲農家の作業負担を軽減するためのワイヤレスによる水管理システムを考案し、水田の排水量を制御することで、水害から街を守る新たな可能性を示すなど、電波の有効利用に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	特定非営利活動法人 ラジオ少年	団体	会長 原 恒夫	多年にわたり、無線従事者養成課程の認定施設者として、ワイヤレス人材の育成に尽力し、多数のアマチュア無線技士を輩出するなど、アマチュア無線の健全な発展と電波の有効利用に多大な貢献をした。
北海道	電波の日 北海道総 合通信局 長表彰	株式会社JTOWER	団体	代表取締役社長 田中 敦史	インフラシェアリング事業者として通信鉄塔等の整備、管理、運用保守を行い、携帯電話事業者へ共有することにより5Gの普及展開を加速化し、条件不利地域におけるエリア整備に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局長表彰	東日本電信電話株式会社北海道事業部	団体	北海道事業部長 阿部隆	北海道内の希望する自治体への光ファイバ整備について、冬期間も含めた限られた期間内で長距離の敷設工事を完了し、地域DX・ICT利活用の推進のために必須となる情報通信基盤整備に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局長表彰	北見市	団体	市長 辻 直孝	ワンストップ「窓口支援システム」の実装による住民サービスの向上を全国に先駆けて取り組み、自治体DX化、業務効率化及び他地域への展開に貢献をした。 また、先進的なサテライトオフィスの整備・活用により地域の産業振興等に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局長表彰	一般社団法人LOCAL	団体	代表理事 澤田 周	多年にわたり、北海道管内の青少年ICTリテラシー向上と地域セキュリティコミュニティの活性化に寄与するとともに、サイバーセキュリティ対策に係る人材育成や普及啓発に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局長表彰	更別村	団体	村長 西山 猛	総務省のスマートシティ推進事業の活用により地域が抱える様々な課題の解決や地域活性化・地方創生の実現に向けてスマートシティ推進を行い、スマート農業の取り組みにより農業ICTの普及に多大な貢献をした。
北海道	情報通信 月間 北海道総合通信局長表彰	北海道ワイン株式会社	団体	代表取締役社長 鳶村 公宏	総務省のローカル5G等による課題解決型開発実証において、中山間地域での草刈り・防除ロボットの遠隔監視制御、リモートでの未熟練者指導、病虫害予兆のAI判定に関する実証を行い、スマート果樹園の社会実装に向けて多大な貢献をした。
北海道	北海道総合通信局長感謝状	株式会社NTTドコモ北海道支社	団体	北海道支社長 本 昌子	北海道管内における高齢者向けスマホ講習会の実施にあたり、講師の派遣や携帯端末の提供、あわせてマイナンバーカード申請手続きのサポートを行うなど、地域のデジタル活用支援のため多大な協力をした。
北海道	北海道総合通信局長感謝状	KDDI株式会社北海道総支社	団体	北海道総支社長 佐藤 英一	北海道管内における高齢者向けスマホ講習会の実施にあたり、講師の派遣や携帯端末の提供、あわせてマイナンバーカード申請手続きのサポートを行うなど、地域のデジタル活用支援のため多大な協力をした。
北海道	北海道総合通信局長感謝状	ソフトバンク株式会社 コンシューマ事業統括 営業第一本部	団体	執行役員 コンシューマ事業統括 営業第一本部 本部長 山崎 淳司	北海道管内における高齢者向けスマホ講習会の実施にあたり、講師の派遣や携帯端末の提供、あわせてマイナンバーカード申請手続きのサポートを行うなど、地域のデジタル活用支援のため多大な協力をした。
北海道	北海道テレコム懇談会会長賞	北海道ドローン協会	団体	会長 小川 健太	北海道内において、ドローンの安全普及啓発、計測技術の技術研鑽、利活用と寒冷地対応の研修など、北海道の特性を生かした研修、啓発を実施し、永年にわたり地域情報化の普及・発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北海道	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	三浦 愛和、星川 美月 (北海道旭川商業高等学校)			＜作品名＞ 「エコについてきいてみた」
北海道	「2023年度情報通信の安心安全な利用のための標語」北海道総合通信局長賞	北海道幕別清陵高等学校		校長 小島 政裕	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『ネットでは クリック1つも 命取り』
東 北	電波の日東北総合通信局長表彰	青森県むつ市立大平中学校	団体	校長 飯田 一彦	多年にわたり「受信環境クリーン図案コンクール」に参加し総務大臣賞(令和2年度及び令和4年度受賞)をはじめ数々の上位入賞作品を制作され、学校教育を通じてテレビやラジオの良好な受信環境を守るための周知啓発に関し多大な貢献をした。
東 北	電波の日東北総合通信局長表彰	宮城県仙台市	団体	市長 郡 和子	仙台市では、東日本大震災の際に津波避難広報中の市職員と消防団員が犠牲となったことから、避難広報手段の多重化・補完のため、津波避難広報ドローンの開発を進め、令和4年10月から本格運用を開始した。 本件は世界初の事例となるLTE専用通信網で制御される自動運航のドローンによる津波避難広報であり、これにより沿岸部の住民及び来訪者に対する迅速かつ的確な津波避難広報体制の確立に大きく貢献した。
東 北	電波の日東北総合通信局長表彰	山形県電波適正利用推進員協議会	団体	会長 田中 俊明	多年にわたり電波教室の実施を通じて電波利用ルールの周知・啓発を行うことにより電波の適正な利用推進に多大な貢献をされた。 特に、近年のコロナ禍においては、感染防止に配慮しながら電波教室を計画・実施し、電波利用ルールの周知・啓発活動を継続的に実施した。
東 北	情報通信月間東北総合通信局長表彰	鎌田 宏	個人		東日本大震災直後の平成23年度から令和4年10月までの間、東北情報通信懇談会の会長として、ICT利活用の推進により地域活性化、地域課題解決及び東日本大震災の被災地域における復興支援など多大な貢献をした。
東 北	情報通信月間東北総合通信局長表彰	岩手県遠野市	団体	市長 多田 一彦	市内全域に光ファイバ回線を整備しICTを活用した地域住民の安心安全な生活環境を実現するなど地域のデジタル変革の推進に尽力した。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東 北	情報通信 月間 東北総合 通信局長 表彰	NTT東日本宮城グループ	団体	執行役員宮城事業部長 滝澤 正宏	大規模災害時を想定した通信確保の訓練を自治体と合同で実施し、全国初となる他の携帯電話事業者も参画した電力接続運用訓練を実施するなど、防災対策に積極的に尽力した。
東 北	情報通信 月間 東北総合 通信局長 表彰	福島県立郡山北工業高等学校	団体	校長 鈴木 稔	電気通信設備の工事担任者等の資格取得に向けた教育に積極的に取り組み多くの合格者を輩出するなど、ICT人材育成に多大な貢献をした。
東 北	東北電気 通信協力 会長表彰	リコーインダストリー株式会社東北事業所	団体	所長 庄司 勝	ローカル5Gを活用し生産現場等での生産性向上と働き方の変革により新たな付加価値の創出を目指す先進的な取り組みを行った。 また、その取り組みをセミナーや見学会で積極的に展開しローカル5Gの普及促進に多大な貢献をした。
東 北	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	学校法人日本コンピュータ学園 東北電子専門学校 映像放送科	団体		＜作品名＞ 「お客様は仏様」
東 北	2023 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」東北総合通信局長表彰	福島県白河市立東北中学校	学校部門	校長 渡邊 泰昌	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『強い意志 ネットに支配 されないで』
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	北郷 裕美	個人	法政大学大学院 政策創造研究科 教授	ラジオを地域活性化の情報発信ツールとして活用し、放送大学FM跡地を利用する臨時災害放送局の効果的な開設・運用に関する調査検討会において、災害事例を踏まえた知見を積極的に共有するなど、地域社会におけるラジオの重要性を高め地域活性化の推進に多大な貢献をした。
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	埼玉県行田警察署	団体	署長(警視) 石合 龍也	不法無線局が引き起こす混信妨害などの社会的影響を重視し、電波利用秩序を乱す不法無線局を排除するため、電波法令違反者を摘発し、地域における電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	一般社団法人 全国 陸上無線協会 関東 支部	団体	支部長 元田 捷治	多年にわたり陸上関係無線局の運用管理に関する指導支援を行うとともに、無線従事者資格の取得を促進し、無線技術や知識習得に向けた取組みを推進するなど、電波利用秩序の維持向上に多大な貢献をした。
関 東	電波の日 関東総合 通信局長 表彰	一般社団法人日本コ ミュニティ放送協会 関東地区協議会	団体	会長 (FM小田原株式会社代 表取締役社長) 鈴木 伸幸	ラジオの存在意義を認識し、積極的に被災地支援を行うとともに、地域社会への貢献をテーマとした関東放送シンポジウムの開催への協力や、デジタル時代における臨時災害放送局に関する協力協定の締結など、ラジオによる防災や地域活性化の推進に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	越塚 登	個人	国立大学法人東京大 学大学院 情報学環 教授	YRPビジョン2025推進委員会の委員長として、産官学連携による地域産業の創出に取組むとともに、関東デジタル田園都市構想推進協議会に参画し、デジタル基盤の整備とデジタル技術を活用した社会課題解決に向け多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	下山 紗代子	個人	一般社団法人リンク データ代表理事	地域情報化アドバイザーとして、オープンデータ、人材育成などの取組を通じて、地方公共団体における情報化推進や職員の意識啓発に尽力し、地域の情報通信の普及発展や地域課題解決に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	中尾 彰宏	個人	国立大学法人東京大 学 大学院 工学系研究科 システム創成学専攻 教授・東京大学総長 特任補佐	次世代サイバーインフラについて研究し、複数の産官学連携プロジェクトのリーダーを務めるとともに、地域における課題解決に向けた実証実験などを通じて、ローカル5GやBeyond5Gの普及展開に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	宮崎 昌美	個人	株式会社アイネス 事業企画本部 シニアコンサルタント	地域情報化アドバイザーとして、DX推進の機運を醸成する支援策を広く紹介するなど、献身的に尽力し、地域の情報通信の普及発展や地域課題解決に多大な貢献をした。
関 東	情報通信 月間 関東総合 通信局長 表彰	一般社団法人電子情 報通信学会東京支部	団体	東京支部長 森永 聡	多年にわたり戦略的情報通信研究開発セミナーにおいて、先進性の高い研究成果の周知に向けた企画や運営に主体的に参画し、セミナーを成功に導くとともに、学会の活動を通じて、情報通信技術の普及展開に多大な貢献をした。
関 東	関東情報 通信協力 会長表彰	坂田 昇	個人	公益財団法人 日本無 線協会養成課程講師	多年にわたり、公益財団法人日本無線協会の講師として、航空分野の無線通信業務に従事した経験と知識を活かし、航空無線通信士や陸上特殊無線技士など、多くの無線従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
関 東	関東情報通信協力会長表彰	三瀬 敏生	個人	三菱電機株式会社交通事業部統合エンジニアリング部主席技師長	多年にわたり、列車無線技術者の養成講習会の講師として鉄道における無線従事者の育成に尽力するとともに、列車無線のデジタル化の実務に必要な専門知識を活かして無線のエキスパートの育成に大きな役割を果たすなど、鉄道における列車無線のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
関 東	関東情報通信協力会長表彰	村田 秀男	個人	公益財団法人 日本無線協会養成課程講師	多年にわたり、公益財団法人日本無線協会の講師として、海上分野の無線通信業務に従事した経験と知識を活かし、海上無線通信士や海上特殊無線技士など、多くの無線従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
関 東	関東情報通信協力会長表彰	森 秀和	個人	一般財団法人 日本アマチュア無線振興協会非常勤講師	多年にわたり、一般財団法人日本アマチュア無線振興協会の第二級、第三級及び第四級アマチュア無線技士養成課程講習会の講師として、アマチュア無線従事者の健全な育成に尽力し、無線従事者の育成を通じてアマチュア無線の発展や電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
関 東	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	小林 想 (東京モード学園)	個人		<p><作品名></p> <p>「SNSの中」</p>
関 東	2023 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」関東総合通信	東京都立美原高等学校	学校部門		<p>「情報通信の安心安全な利用のための標語」</p> <p>『炎上の用心 動画一本 火事のもと』</p>
信 越	電波の日 信越総合通信局長表彰	佐藤 久	個人	新潟県立新発田南高等学校 教諭	永年にわたりアマチュア無線のARDF競技大会運営の中心となり尽力するとともに競技に係る技術情報を広く提供するなどアマチュア無線を体験する機会を積極的に作る活動により全国の青少年のワイヤレス人材育成に多大な貢献をした。
信 越	電波の日 信越総合通信局長表彰	上原 一郎	個人	元 公益財団法人日本無線協会信越支部 無線従事者国家試験試験員	永年にわたり、無線従事者国家試験の試験員として試験の厳正かつ適正な実施に尽力し、我が国の無線従事者の育成及び電波利用秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
信 越	情報通信月間 信越総合通信局長表彰	糸魚川市	団体	市長 米田 徹	テレワークオフィスの拡充や他の地方公共団体と連携したテレワーカーの育成を推進するとともに、首都圏ICT企業の地方拠点誘致やテレワークオフィスの法人化など、テレワークを活用した地域の就労支援や雇用創出に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
信 越	情報通信 月間 信越総合 通信局長 表彰	中野 敬介	個人	国立大学法人新潟大 学 工学部 教授	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会の委員長として長年にわたりICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をした。
信 越	情報通信 月間 信越総合 通信局長 表彰	小池 健一	個人	長野県厚生農業協同 組合連合会 南長野医 療センター 篠ノ井総合 病院 名誉院長	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会委員を長年にわたり務め、ICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をした。
信 越	情報通信 月間 信越総合 通信局長 表彰	酒井 龍市	個人	株式会社イトラスト 代表取締役社長	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会委員を長年にわたり務め、ICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をした。
信 越	情報通信 月間 信越総合 通信局長 表彰	森本 博行	個人	公立大学法人長野県 立大学 名誉教授、東 京都公立大学法人東 京都立大学 名誉教授	戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)の地域ICT振興型評価委員会委員を長年にわたり務め、ICT分野の研究開発推進を通じて地域課題の解決に多大な貢献をした。
信 越	信越総合 通信局長 感謝状	株式会社エス・ティ通 信	団体	代表取締役 鈴木 義 和	令和4年12月の新潟県大雪災害において、村上市内のケーブルテレビ施設に障害が発生した際、気象環境が悪い中早期に駆けつけ、地域住民のテレビ受信環境の復旧に協力した。
信 越	信越総合 通信局長 感謝状	株式会社オリエンス	団体	代表取締役 丸岡 達 生	令和4年12月の新潟県大雪災害において、村上市内のケーブルテレビ施設に障害が発生した際、気象環境が悪い中早期に駆けつけ、地域住民のテレビ受信環境の復旧に協力した。
信 越	信越総合 通信局長 感謝状	落合 博幸	個人	株式会社ラック サイ バー・グリッド・ジャ パン ICT利用環境啓発支援 室	コロナ禍でオンライン実施となった「高校生ICTカンファレンスin新潟」の運営に中心的に携わるほか、平成28年から新潟県警察サイバー犯罪対策アドバイザーとしてサイバーセキュリティの向上に寄与するなど、地域の情報通信の安心安全な確保に協力した。
信 越	信越電波 協力会長 表彰	株式会社ドコモCS 新潟支店	団体	支店長 久保田 敦紀	令和4年12月からの大雪災害において、新潟県庁など関係機関と連携を図り、車載型基地局の派遣や発電機配備による携帯電話基地局の機能回復やその後の早期復旧を行うなど、災害時の通信確保に多大な貢献をした。
信 越	信越電波 協力会長 表彰	株式会社ドコモCS 長野支店	団体	支店長 佐々木 啓三 郎	自治体、山岳関係者からの基地局設置困難な北アルプスの縦走ルートの携帯電話のエリア化要望について、全国初となるマイクロ伝送による基地局を設置するなど、登山者等の安心・安全の通信の確保に多大な貢献をした。
信 越	信越電波 協力会長 表彰	KDDI株式会社 小山テクニカルセン ター	団体	センター長 今本 和志	令和4年12月からの大雪災害において、積極的に新潟県庁など関係機関と連携を図り、いち早く車載型基地局を派遣し、発電機配備による携帯電話基地局の機能回復やその後の早期復旧を行うなど、災害時の通信確保に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
信 越	信越電波協力会長表彰	ソフトバンク株式会社 関東技術推進部	団体	部長 佐藤 昌晶	令和4年12月からの大雪災害において、積極的に新潟県庁など関係機関と連携を図り、発電機配備による携帯電話基地局の機能回復やその後の早期復旧を行うなど、災害時の通信確保に多大な貢献をした。
信 越	「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞	左右手 (学校法人国際総合学園日本アニメ・マンガ専門学校 卒業生 呉 力和、中村 拓海)			<p><作品名></p> <p>「あの夏」</p>
信 越	2023 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」信越総合通信	佐久市立切原小学校	学校部門	統合後(佐久市立臼田小学校) 校長 井出 誠一	<p>「情報通信の安心安全な利用のための標語」</p> <p>『大丈夫？ 見えない相手は 要注意』</p>
北 陸	電波の日北陸総合通信局長表彰	穂毛 隆一	個人	一般社団法人全国陸上無線協会北陸支部支部長	一般社団法人全国陸上無線協会北陸支部支部長として、協会運営の指導的役割を果たすとともに、陸上に開設する無線局の申請・運用及び管理に関し積極的な支援を行うなど、北陸地域の電波利用の普及・発展に多大な貢献をした。
北 陸	電波の日北陸総合通信局長表彰	間明 俊宏	個人	一般社団法人全国陸上無線協会北陸支部副支部長	一般社団法人全国陸上無線協会北陸支部副支部長として、支部運営に尽力するとともに、陸上に開設する無線局の申請・運用及び管理に関し確実な支援を行うなど、北陸地域の電波利用の普及・発展に多大な貢献をした。
北 陸	電波の日北陸総合通信局長表彰	南 良成	個人	一般社団法人全国船舶無線協会北陸支部支部長	一般社団法人全国船舶無線協会北陸支部支部長として、協会運営の指導的役割を果たすとともに、船舶に開設する無線局の申請・運用及び管理に関し積極的な支援を行うなど、北陸地域の電波利用の普及・発展に多大な貢献をした。
北 陸	情報通信月間北陸総合通信局長表彰	射水ケーブルネットワーク株式会社	団体		射水市における地域課題の解決に際し、有効なシステムの開発や実装を進めるなど、富山県の行政サービスのDX化に尽力し、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	砂田 哲	個人		フォトニックコンピューティングに関する研究を推進し、光AIチップの開発に成功するなど、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	山竹 良治	個人		無線通信の重要性を深く認識し、長年にわたり、生徒を教育し多数の無線従事者を輩出するとともに、後進の教諭を育成するなど、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	株式会社ict4e	団体		サイバーセキュリティの重要性を深く認識し、サイバーセキュリティを実践的に学ぶワークショップなどを実現させ、同分野の人材を育成し、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。
北 陸	北陸情報通信協議会会長表彰	石川県立小松工業高等学校	団体		無線通信の重要性を深く認識し、長年にわたり、生徒を教育し多数の無線従事者を輩出するなど、北陸地域の情報通信の普及・発展に多大な貢献をした。
北 陸	2023 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」北陸総合通信	越前町立糸生小学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『じょうだんの その一押しで 変わる世界』
東 海	電波の日東海総合通信局長表彰	阪田 史郎	個人	国立大学法人千葉大学 名誉教授	東海総合通信局が開催した「地域自営IoT無線システムの社会実証に向けた技術試験」において調査検討会の主査として、的確な助言・指導によりシステムの有効性、技術的条件等に関して実用化に向けた提言をとりまとめるなど、電波利用の発展に多大な貢献をした。
東 海	電波の日東海総合通信局長表彰	深田 龍雄	個人	元静岡県電波適正利用推進員協議会 会長	静岡県電波適正利用推進員協議会会長として、親子電波教室の開催をはじめとする地域に密着した周知啓発活動を積極的に推進するなど、電波利用環境保護に多大な貢献をした。
東 海	電波の日東海総合通信局長表彰	深田 満	個人	元三重県電波適正利用推進員協議会 会長	三重県電波適正利用推進員協議会会長として、親子電波教室の開催をはじめとする地域に密着した周知啓発活動を積極的に推進するなど、電波利用環境保護に多大な貢献をした。
東 海	電波の日東海総合通信局長表彰	愛知県経済産業局産業部産業振興課次世代産業室	団体	室長 江尻和聰	あいちデジタルアイランドプロジェクトにおいて、中部国際空港島及び周辺地域で5G等デジタル技術を活用した近未来の国際会議や観光の実証事業に取り組むほか地域経済の活性化やDXを推進するなど地域の電波利用並びに情報通信の発展に多大な貢献をした。
東 海	電波の日東海総合通信局長表彰	日進市	団体	市長 近藤裕貴	東海総合通信局が開催した「地域自営IoT無線システムの社会実証に向けた技術試験」に参画し、無線システムの有効性の検証・制度化に向けて行った実証試験を成功に導くなど、電波の有効利用に多大な貢献をした。
東 海	情報通信月間東海総合通信局長表彰	西村 雅史	個人	国立大学法人静岡大学 特任教授 名誉教授 学校法人愛知産業大学 愛知産業大学 教授	戦略的情報通信研究開発推進事業における地域ICT振興型評価委員会の委員として、地域の課題の解決や活性化の観点からの的確な評価を行い、ICT分野の研究開発の推進に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	渡辺 研司	個人	国立大学法人名古屋 工業大学大学院 工学研究科社会工学 専攻 教授	事業継続マネジメントやリスクマネジメントに関する優れた見識に基づきサイバーセキュリティ対策に幅広く寄与するとともに、「東海サイバーセキュリティ連絡会」の活動をリードするなど、サイバーセキュリティの向上に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	国立大学法人東海国 立大学機構 名古屋大学 浦田真 由研究室	団体	情報学研究科准教授 浦田真由	ICTを活用した産学官民協働による観光まちづくりの推進のほか、高齢者向けデジタル相談会の実施やデジタル支援ボランティアの育成など、地域の活性化に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	静岡県立沼津工業高 等学校	団体	学校長 望月保宏	多年にわたり、生徒の工事担任者資格取得の指導に積極的に取り組むことにより多くの資格者を輩出するなど、ICT基盤を支える人材の育成と情報通信分野の発展に多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	西日本電信電話株式 会社 三重支店	団体	支店長 佐藤麻希	災害時における通信障害を早期に復旧するための協定を結び、昨年発生した通信障害を効率よく、迅速に復旧させるなど、地域の安心・安全の確保のため多大な貢献をした。
東 海	情報通信 月間 東海総合 通信局長 表彰	三重県ケーブルテレ ビ協議会	団体	会長 田村欣也	災害時における通信障害を早期に復旧するための協定を結び、昨年発生した通信障害を効率よく、迅速に復旧させるなど、地域の安心・安全の確保のため多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	江崎 修央	個人	独立行政法人国立高 等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学 校 情報機械システム工学 科 教授	多年にわたり、スマート水産業の社会実装を産学官で連携して促進し、最新技術や先進事例の情報共有、フィールドでの試験導入など、様々な海洋観測データの取得や研究を行い三重県の水産業の発展に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	葛西 孝美	個人	新生テクノス株式会社 静岡支店 副支店長	多年にわたり、列車無線のデジタル化や高速大容量化などの通信工事に従事し、東海道新幹線の携帯電話サービスの向上に寄与するとともに、鉄道無線技術者の育成に尽力されるなど、鉄道分野における電波利用に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	一般社団法人 日本アマチュア無線 連盟 東海地方本部	団体	理事・東海地方本部長 木村 時政	多年にわたり、電波障害に関する相談受付・対策指導やアマチュアガイダンス局の運営・管理などを通じ、無線通信技術者の育成、無線通信の秩序維持並びに電波利用環境の維持に多大な貢献をした。
東 海	東海情報 通信懇談 会会長表 彰	株式会社 ROBOZ	団体	代表取締役社長 石田 宏樹	ドローンの普及に向けドローン技術者の育成や新サービスの実証実験に取り組み、社会的課題の解決や防災・観光分野の事業を支援するなど、地域の活性化に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
東 海	東海情報通信懇談会会長表彰	国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学	団体	医学教育開発研究センター教授・センター長 西城 卓也	医師による手術の映像と教員による字幕解説を、5Gを活用し、遅延無く高精細な画像で配信することにより、リアルタイムの遠隔授業を実施し、医療者教育の向上に寄与するなど、電波利用を通じた医療分野の発展に多大な貢献をした。
東 海	東海情報通信懇談会会長表彰	太平洋工業株式会社	団体	代表取締役社長 小川 哲史	タイヤ空気圧監視システムの開発で培われたセンシング技術や無線通信技術を活用し、輸送環境の監視・分析や家畜の体調管理システムなどの開発を行い、生産性やサービスの向上に寄与するなど、地域産業の発展に多大な貢献をした。
東 海	2023 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」東海総合通信	静岡県立掛川特別支援学校御前崎分校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『守ろうよ ネットの決まり 人権も』
近 畿	電波の日近畿総合通信局長表彰	斑鳩町	団体	町長 中西 和夫	安全安心な街作りを目指しデジタル同報無線システムによる防災行政無線の整備に尽力し災害時等における地域住民や貴町を訪れる観光客の情報伝達手段の確保の実現に多大な貢献をした。
近 畿	電波の日近畿総合通信局長表彰	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 和歌山県支部	団体	支部長 池上 和彦	南海トラフ地震に備えアマチュア無線による通信訓練を毎月実施するとともに新たな非常通信ルートの策定に積極的に協力するなど大規模災害時における情報伝達手段の確保の実現のため多大な貢献をした。
近 畿	電波の日近畿総合通信局長表彰	夢洲コンテナターミナル株式会社	団体	代表取締役社長 溝江 輝美	港湾エリアにローカル5G環境を構築し港湾業務効率化や生産性向上を通じたスマート港湾の構築に取り組むとともに海上エリアでの活用を検討するなどローカル5Gの利活用の実現に向け多大な貢献をした。
近 畿	情報通信月間近畿総合通信局長表彰	原田 智	個人	公益財団法人京都産業21 DX推進監兼 CISO	地域情報化アドバイザーとして地方公共団体の行政システムの標準化やサイバーセキュリティ施策の普及啓発に尽力され管内の地方公共団体のDX推進に多大な貢献をした。
近 畿	情報通信月間近畿総合通信局長表彰	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	団体	代表取締役社長 浅見 徹	SCOPEを活用し先端的無線技術の創出や無線技術の新たな適応領域の開拓に関する研究開発を進めBeyond5Gの開発に携わる無線技術者の育成に寄与するとともにICTスタートアップの国際交流に取り組むなど情報通信の発展に多大な貢献をした。
近 畿	情報通信月間近畿総合通信局長表彰	十津川村	団体	村長 小山手 修造	大規模災害時に必要不可欠な情報伝達手段の確保の実現のため当局と協同で実施した防災訓練において通信機器の搬送方法の確認や地域住民に操作実習を行うなど村民の防災意識の高揚と地域防災力の向上に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
近 畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	阪神電気鉄道株式会 社	団体	代表取締役・社長 久 須 勇介	安心安全で効率的な鉄道事業の運営と地域課題解 決のため情報通信技術を用いた開発実証事業を積極 的に実施するなど管内のローカル5G普及推進に多大 な貢献をした。
近 畿	情報通信 月間 近畿総合 通信局長 表彰	兵庫県	団体	知事 齋藤 元彦	ローカル5Gの免許を管内の地方公共団体で初めて取 得したほか先駆的な取組として「5Gアンテナ基地局等 設置ワンストップ窓口」を県庁内に開設するなどデジ タル基盤の整備推進に多大な貢献をした。
近 畿	近畿情報 通信協議 会会長表 彰	内山 将夫	個人	国立研究開発法人情 報通信研究機構 ユニ バーサルコミュニケー ション研究所 先進的 音声翻訳研究開発推 進センター 先進的翻 訳技術研究室 室長	広く利用されている文アライメント技術を世界で初め て開発し大規模な対訳コーパスを公開するとともに機 械翻訳の同時通訳技術の研究開発を主導するなど コーパスベース機械翻訳技術の研究開発において長 年にわたり多大な貢献をした。
近 畿	近畿情報 通信協議 会会長表 彰	並川 巖	個人	関西テレビ放送株式会 社 技術推進本部 DX 推進局 放送推進セン ター シニア職マネ ジャー	地上放送の高度化や周波数の有効利用を実現する にあたり現行周波数を利用した2K放送と4K放送の同 時伝送手法である3階層セグメント分割伝送方式を主 導的に提案して開発するなど地上波高度化技術の検 討に多大な貢献をした。
近 畿	近畿情報 通信協議 会会長表 彰	能美 俊一	個人	株式会社サンテレビ ジョン 常務取締役技 術局長（管理・技術担 当）	大規模災害時においても地域に情報提供できる放送 設備を構築して新たな異業種協業モデルを確立され るとともに放送技術に携わる知見を活かして課題解 決に向けた多くの事例を公開し放送技術者の育成に 尽力するなど放送技術の継承に多大な貢献をした。
近 畿	「地域発デ ジタルコン テンツ」総務 大臣奨励賞	同志社大学プロジェ クト科目 「クリエイティブな映像 制作でインターネット の安心安全を守 る！」			＜作品名＞ 『【漫画風】国際ロマンス詐欺』
近 畿	2023 年度 「情報通信 の安心安 全な利用 のための 標語」近畿 総合通信	大阪市立昭和中学校	学校部 門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『「知らんけど」 その言葉では 取り消せない』
中 国	電波の日 中国総合 通信局長 表彰	簀田 英雄	個人	元 株式会社中国放送 執行役員 技術局長	多年にわたり放送技術業務に携わり、ラジオ親局の 移転や地上デジタル放送の普及促進、さらに全国で 初めてマスター設備共用を実現するなど、放送分野 の発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 国	電波の日 中国総合 通信局長 表彰	第六管区海上保安本 部 広島海上保安部	団体	部長 原田 秀穂	海上における無線通信の重要性を深く認識し、不法無線局を排除するための取締りを積極的に実施し、電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
中 国	電波の日 中国総合 通信局長 表彰	KDDIパラボラ館	団体	山口技術保守センター センター長 大橋 正範	四十年以上の長きにわたり、KDDIパラボラ館において衛星通信の重要性など広く国民の理解増進に寄与し、電波利用の普及発展に多大な貢献をした。
中国	電波の日 中国総合 通信局長 表彰	広島ガス株式会社	団体	代表取締役社長 社長 執行役員 松藤 研介	ローカル5Gを活用したDX推進に積極的に取り組むとともに、先進的な活用事例の成果や展望について広く周知を図るなど、ローカル5Gの活用促進に多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	岡山県立井原高等学 校	団体	校長 上野 修嗣	長年にわたり青少年のインターネット・リテラシーに関する実態調査の実施校として、青少年がインターネットを安全に安心して活用するためのリテラシー指標であるILASづくりに多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	岡山放送株式会社	団体	代表取締役社長 中静 敬一郎	多年にわたり手話放送を通じて、聴覚障害者への災害時の情報伝達や地域経済との連携の在り方など、情報から誰一人取り残されないユニバーサルな情報発信に多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	株式会社ティーガイ ア 西日本支社 中 国支店	団体	支店長 中川 泰成	e-ネットキャラバンの趣旨に賛同し、多数の講座でボランティア講師を務めるなど、地域のインターネットの安心・安全利用の普及促進に多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	広島テレビ放送株式 会社	団体	代表取締役社長 飯田 政之	情報通信設備の有用性を深く認識し、災害時に自社のみならず、多くの放送局・企業・市町村に石油製品の供給支援を可能とする体制を構築し、地域住民の安心・安全な暮らしの確保に多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長表彰	エネアース株式会社	団体	代表取締役 高山 薫	情報通信設備の有用性を深く認識し、災害時に多くの放送局・企業・市町村に石油製品の供給支援を可能とする体制を構築し、地域住民の安心・安全な暮らしの確保に多大な貢献をした。
中 国	情報通信 月間中国 総合通信 局長感謝 状	一般財団法人 中国 港湾福利厚生協会	団体	会長 西山 寛	本年5月に行われたG7広島サミットにおいて、サミット会場近隣での電波監視職員の待機場所の提供など、電波監視業務の迅速で効率的な遂行に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
中 国	「地域発デジタルコンテツ」総務大臣奨励賞	平井 綾乃 比治山大学短期大学部			＜作品名＞ 「すてきな雨ふり」
中 国	「中国情報通信懇談会」表彰	前田 香織	個人	広島市立大学最高デジタル責任者(CDO)・特任教授	中国・四国地域におけるインターネットの普及啓発活動に従事するなど、長年にわたり先進的な情報通信技術の普及啓発、人材育成を精力的に行い、地域における技術基盤の底上げに貢献をした。
中 国	2023 年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」中国総合通信	周南市立周陽中学校	学校部門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『思いやり リアルもネットも 変わらない』
四 国	電波の日四国総合通信局長表彰	大井 克己	個人	香川県電波適正利用推進員協議会 会長	多年にわたり電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、香川県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
四 国	電波の日四国総合通信局長表彰	真鍋 隆資	個人	徳島県電波適正利用推進員協議会 会長	多年にわたり電波適正利用推進員として電波教室や地域のイベントなどにおいて電波利用に関する相談や周知啓発活動を積極的に行うとともに、徳島県電波適正利用推進員協議会の会長として電波の適正利用の推進に多大な貢献をした。
四 国	情報通信月間四国総合通信局長表彰	米谷 雄介	個人	香川大学 情報化推進統合拠点 准教授	地域課題解決に資するデジタル技術やデータの活用に関する研究に取り組み、自治体等への支援やデジタル人材の育成等に尽力されるとともに、5G等デジタル実装に関する産学官の連携を促進するなど地域のデジタル活用推進に多大な貢献をした。
四 国	情報通信月間四国総合通信局長表彰	サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会	団体	実行委員長 小林 真也	多年にわたり愛媛県松山市においてサイバーセキュリティシンポジウム道後の開催に尽力され、全国から専門家等を招いての情報共有や交流の場づくりを通じ四国における人材育成及び地域セキュリティコミュニティの形成に多大な貢献をした。
四 国	情報通信月間四国総合通信局長表彰	Web×IoTメイカーズチャレンジPLUS香川運営委員会	団体	代表 宮脇 好和	IoTシステム開発者を目指す若者を対象とした「Web×IoTメイカーズチャレンジPLUS in 香川」を開催し、地域課題を解決するためのIoT作品を試作するハッカソン体験を提供することにより地域におけるICT人材育成の推進に多大な貢献をした。
四 国	四国情報通信協力会長表彰	土居 健二	個人	土居海事事務所 所長	多年にわたり公益財団法人日本無線協会の講師として、これまでの海上分野における無線通信業務の知識と経験を生かし無線従事者の指導育成に尽力するなど、電波利用の普及と発展に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
四 国	「地域発デジタルコン テンツ」総務 大臣奨励賞	高知国際中学校 Citrus (高知県立高知国際 中学校)			＜作品名＞ 「誰もがもっと住みやすく、明るい町へ」
四 国	2023 年度 「情報通信 の安心安 全な利用 のための 標語」四国 総合通信 局長賞	阿南市立山口小学校	学校部 門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『気をつけよう 相手がいやがる メッセージ』
九 州	電波の日 九州総合 通信局長 表彰	田中 八洲治	個人		長年にわたり長崎県電波適正利用推進員協議会の 会長として同協議会を牽引されるとともに、地元での 電波教室の開催や電波適正利用に係る周知啓発活 動に積極的に取り組むなど、地域の適正な電波利用 環境の保護に多大な貢献をした。
九 州	電波の日 九州総合 通信局長 表彰	株式会社JVCケン ウッド	団体	代表取締役 江口 祥一 郎	400MHz帯デジタル簡易無線局の帯域拡張及び高 度化のあり方に関する調査検討会において各種試験 や検討の取りまとめを行い、周波数逼迫対策及び中 継動作の利用に関する技術的条件を策定し、電波技 術の普及と発展に多大な貢献をした。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	升屋 正人	個人	国立大学法人鹿児島 大学情報基盤統括セン ター 教授	長年にわたり地域情報化アドバイザーとして、条件不 利地域における光ファイバ整備に貢献するなど、自治 体の地域情報化の推進と人材育成に多大な貢献をし た。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	国立研究開発法人情 報通信研究機構 ユ ニバーサルコミュニ ケーション研究所、広 報部	団体	所長 内元 清貴、部長 越後 和徳	くまモンを起用したポスターを制作し、熊本県内関係 団体と協力して多言語音声翻訳技術の九州管内での 周知と普及に尽力され、海外からの来訪者等が暮ら しやすく観光を満喫できる言葉の壁のない社会の実 現に向けて多大な貢献をした。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	株式会社宮崎放送	団体	代表取締役社長 松方 健二	放送コンテンツの海外展開事業に積極的に取り組 み、地域の観光情報や物産情報の発信を通じて、イン パウンドの観光促進や地域産業の海外展開に多大 な貢献をした。
九 州	情報通信 月間九州 総合通信 局長表彰	宮崎県企業・警察サイ バーセキュリティ連 携協議会	団体	会長 松方 健二	宮崎県内企業等のサイバーセキュリティ向上に向け た各種支援やインターネット利用者に対する広報啓発 活動を行うなど、サイバー犯罪被害の未然防止及び 拡大防止を図り、安心安全なサイバー空間の発展に 多大な貢献をした。
九 州	2023 年度 「情報通信 の安心安 全な利用 のための	阿久根市立阿久根小 学校	学校部 門	校長 中村 一成	「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『語ろうか ネットの人より その場の人と』

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
九 州	九州電波協力会長表彰	中原 孝洋	個人	独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長、公立大学法人九州歯科大学 特任教授	「九州地域の医療機関における電波利用推進協議会」の座長代理として先導的な役割を果たすとともに、院内の次世代PHSの本格導入に先駆けて取り組み、医療機関における安心・安全な電波利用環境の普及促進に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	陸上自衛隊第十五旅団	団体		沖縄県総合防災訓練、防災訓練「美ら島レキュー」において、公共安全LTEを用いた多地点による映像主体の情報伝達に係る実証実験に参加し、災害時の情報通信の普及促進に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	第十一管区海上保安本部	団体		沖縄県総合防災訓練において、公共安全LTEを用いた多地点による映像主体の情報伝達に係る実証実験に参加し、災害時の情報通信の普及促進に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	西日本高速道路株式会社 九州支社 沖縄高速道路事務所	団体		防災訓練「美ら島レスキュー」において、公共安全LTEを用いた映像主体の情報伝達に係る実証実験に参加し、災害時の情報通信の普及促進に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	一般社団法人日本アマチュア無線連盟 沖縄県支部	団体		本土復帰五十周年イベント、首里城再建支援でのアマチュア無線の記念局開設やワイヤレス人材育成につながる体験運用、電子申請利用拡大の啓蒙活動など、アマチュア無線の普及発展に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	嘉手納町	団体		総務省電波監視システムセンサ局の設置、維持管理、運用に積極的に協力し、不法無線局対策及び電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	沖縄市漁業協同組合	団体		漁業用船舶に設置された無線局に対する電波法令遵守の周知啓発に積極的に協力し、不法無線局対策及び電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
沖 縄	電波の日 沖縄総合通信事務所長表彰	琉球大学病院	団体		総務省電波監視システムセンサ局の設置、維持管理、運用に積極的に協力し、不法無線局対策及び電波利用の秩序維持に多大な貢献をした。
沖 縄	情報通信 月間沖縄総合通信事務所長表彰	一般社団法人 頑張る地域支援し隊	団体		沖縄総合通信事務所等が主催する「沖縄デジタル映像祭」及び沖縄情報通信懇談会が主催する「沖縄IoTハッカソン」に参画するなど、長年にわたり映像コンテンツやIoTに携わる人材育成に多大な貢献をした。

地域	表彰区分	受賞者名	区分	役職・代表	功績概要
沖 縄	情報通信 月間沖縄 総合通信 事務所長 表彰	沖縄県警察本部 生 活安全部 サイバー 犯罪対策課	団体		沖縄サイバーセキュリティネットワークの活動において、積極的にセミナー等に講師を派遣され、独自でも関係セミナーや研修会等への講師派遣に取り組むなど、県内のサイバーセキュリティ対策の推進に多大な貢献をした。
沖 縄	「地域発デ ジタルコン テンツ」総務 大臣奨励賞	友利 愛音、宮里 佳 子、赤嶺 幸則、大嶺 杜和、新垣 陸、花城 ゆりあ、上原 銀志、 山城 朱莉 (沖縄ラフ&ピース専 門学校)			＜作品名＞ 『Back To The 1979』
沖 縄	2023 年度 「情報通信 の安心安 全な利用 のための 標語」沖縄 総合通信 事務所長 表彰	沖縄県立久米島高等 学校	学校部 門		「情報通信の安心安全な利用のための標語」 『消せないよ 心の傷も 投稿も』
沖 縄	沖縄電波 協力会長 表彰	森田 明	個人	株式会社ラジオ沖縄 取締役相談役	沖縄電波協会の理事や副会長を歴任し、また株式会社ラジオ沖縄代表取締役社長としてあまねくラジオ放送の提供を行い、地域の文化、経済の発展を支え、沖縄県における電波利用の適正な発展に多大な貢献をした。